

強酸性水生成器ドラゴンビームスマートにて生成された 次亜塩素酸水の経時安定性データ

■測定条件等

試験場所：株式会社エヌアイシー本社研究室
試験機名：ドラゴンビームスマート ST-100
試験期間：2021年2月10日～2021年3月13日（31日間）
生成方法：専用容器2個にそれぞれ
水道水 約700ml に対し食塩 約1.5g ずつ
電解時間：約17分
測定開始時有効塩素濃度：110ppm (mg/L)
測定開始時 pH 値：1.97 ⇒ (※31日後の pH 値は 2.10)
保管使用容器：①透明ボトル、②半透明ボトル、③遮光ボトル

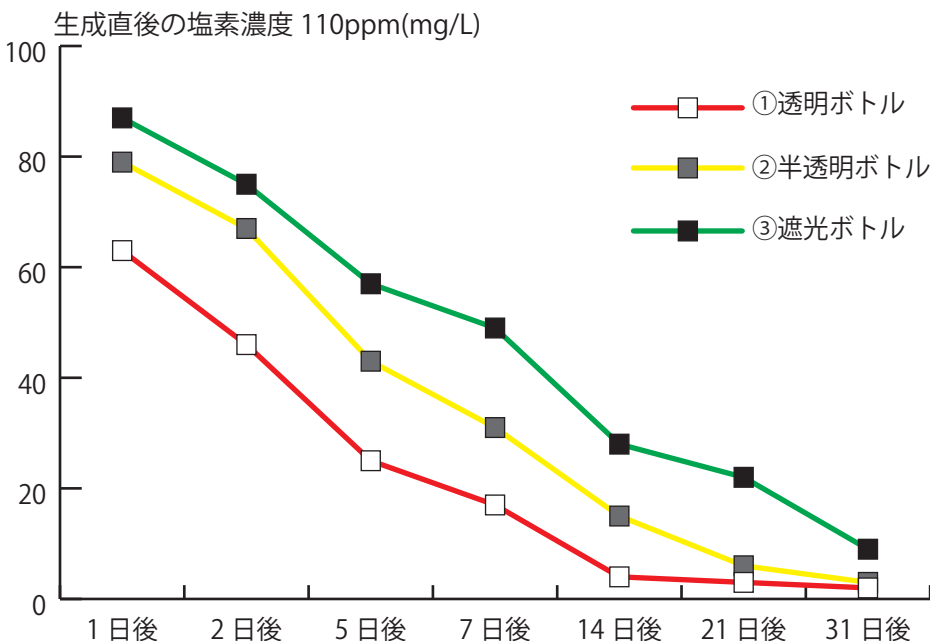
■ドラゴンビームスマート ST-100



■保管容器の違いによる経時有効塩素濃度変化

測定日	経過日数	①透明ボトル 有効塩素濃度	②半透明ボトル 有効塩素濃度	③遮光ボトル 有効塩素濃度
2021年2月11日	1日後	63ppm	79ppm	87ppm
2021年2月12日	2日後	46ppm	67ppm	75ppm
2021年2月15日	5日後	25ppm	43ppm	57ppm
2021年2月17日	7日後	17ppm	31ppm	49ppm
2021年2月24日	14日後	4ppm	15ppm	28ppm
2021年3月3日	21日後	3ppm	6ppm	22ppm
2021年3月13日	31日後	2ppm以下	3ppm	9ppm

※赤字は保管容器ごとの40ppm以上を保持している日数を表しています。



■測定機器および保管容器画像

①透明ボトル 2日経過後



②半透明ボトル 5日経過後



③遮光ボトル 7日経過後



※上記はあくまで弊社測定環境、機器での数値となります。水質等の環境に依存し数値は変化します。